

第 58 回

# 高知市文化祭

## 報告書

〔平成 18 年度〕



第 58 回高知市展ポスター

高知市文化祭執行委員会



# 目 次



高知市文化祭執行委員名簿	.....	2
高知市文化祭主催行事	.....	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	.....	5
参加行事報告		
映像部門参加行事	.....	6
演劇部門参加行事	.....	7
音楽部門参加行事	.....	9
舞踊部門参加行事	.....	13
展示部門参加行事	.....	16
文芸部門参加行事	.....	17
その他参加行事	.....	18

## 第58回高知市文化祭執行委員会

区 分		氏 名	備 考
顧 問		廣 松 ひとし	人形劇団ピコロ座代表
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	森 尾 靖 峰	高知県三曲協会会長
		山 下 佳 邦	高知交響楽団団長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟事務局長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		立 脇 千 賀 子	立脇千賀子バレエ研究所主宰
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場副理事長
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	高 橋 胤 臣	高知能楽会代表理事
	市 展	浜 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知市漫画集団事務局
	県立美術館	河 村 章 代	高知県立美術館学芸員
文化協会	森 田 悦 男	高知市文化協会代表理事	
報 道	RKC	高 木 寿 隆	高知放送報道制作局次長兼報道制作部長
	NHK	長 田 洋 治	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	石 川 浩 之	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	雪 本 信 彰	高知新聞企業事業局長
	KUTV	池 知 學	テレビ高知報道技術センター理事
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ報道制作局次長兼制作部長

委員長 花柳 昌延

副委員長 森尾 靖峰・森田 悦男

監 査 高橋 胤臣・上本 竹永



# 第58回 高知市展

- ◇開催日 平成18年5月27日(土)～6月11日(日)
- ◇会場 高知市文化プラザ 7階市民ギャラリー全室ほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円 (割引券を発行)
- ◇鑑賞者 6,501名
- ◇美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」  
 6月4日(日)午後1時～4時 プラザ前広場+公民館施設  
 有料：フリーパスポート500円 (6部門7ブース)



◇出品者・出品数・イベント

部 門	出品者 (前回)	出品数 (前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	74 (97)	91 (114)	4 (4)	「お絵描きデパート」	2000
日本画	34 (25)	38 (30)	3 (3)		
書 道	121 (104)	121 (104)	10 (8)	「筆とあそぼう」	800
先端美術	13 (13)	13 (13)			
彫 塑	31 (26)	45 (36)		「石膏おにぎり」	516
陶 芸	43 (50)	52 (65)	2 (3)		
工 芸	42 (48)	71 (84)	1 (0)	「北見のたまねぎの皮で染めましょう」 「ブルーにきらきら星のペンダント」	410
写 真	74 (77)	121 (135)	10 (10)	「カメラに親しもう」	50
ペン字	84 (114)	84 (114)			
デザイン	5 (16)	5 (16)		「キーホルダー作り」	800
合 計	521 (570)	641 (711)	30 (28)		4576

文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	5 (4)	673 (460)	120,000 (209,000)	共 催 4 名義後援 1
演 劇	11 (14)	7,775 (8,909)	535,000 (780,000)	共 催 8 名義共催 1 後 援 2
音 楽	24 (26)	9,613 (11,051)	1,362,000 (1,306,000)	共 催 18 後 援 6
舞 踊	13 (14)	9,973 (11,186)	530,000 (1,037,000)	共 催 11 後 援 1 名義後援 1
展 示	5 (5)	9,574 (9,433)	340,000 (380,000)	共 催 5
文 芸	3 (3)	691 (652)	194,000 (264,000)	共 催 2 委 託 1
その他	4 (4)	1,324 (1,330)	290,000 (190,000)	共 催 2 後 援 2
合 計	65 (70)	39,623 (43,021)	3,355,000 (4,132,000)	共 催 50 名義共催 1 後 援 11 名義後援 2 委 託 1

( ) 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

## 映像部門

行事名	こうちコミュニティシネマ第15回上映会「ある子供」		
日・時	4月14日(金) 13:30～計4回		将来の事など関係ない、今が楽しければそれでいい。ひったくりや泥棒でしか生き延びることができない子供(若者)たち。厳しい現実に晒され悲痛な叫びをあげる彼らに、最後に訪れるわずかな希望の光は観客の心を大きく揺さぶった。これからも様々な種類の映画を上映し、選択肢を広げることで、少しでも高知の映像文化発展に寄与していきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者 165人	
主催	NPO法人こうちコミュニティシネマ／有光文平		

行事名	ムービージャンキー第184回上映会「空中庭園」		
日・時	4月19日(水) 13:30～計4回		アンケートより、「家族についてもう一度考えてみようと思ってきました。家族は本当にかげがえのないものだと思います」「少し怖かった」。主人公の主婦は、少女時代の疎外感の反動で完全な理想家族を作り、コントロールしていたつもりが崩壊する。しかし自然な家族の絆により救われる物語だ。家族の危うさと絆の強さを受け止めてもらえ、上映した甲斐があった。
会場	県立美術館ホール	入場者 237人	
主催	MOVIE JUNKY／西川泉		

行事名	シネマな夜VOL.74「ブレイキング・ニュース」		
日・時	4月22日(土) 13:20～計5回		たたみかける展開のエンタテインメントでありながら、メディアの取り上げ方によって世間の評価ががらりと変わってしまうという、報道批判の社会性も備えていた。しかし、予想したほど集客をあげることができず、魅力ある作品であってもハリウッド映画のような知名度がなければ様々なパブリシティを試みても、若年層に浸透させるのが難しいことを実感する結果となった。
会場	県立美術館ホール	入場者 88人	
主催	シネマ・サンライズ／吉川修一		

行事名	ワインドキュメンタリー映画「モンドヴィーノ」自主上映会		
日・時	4月28日(金) 18:30～20:45		ワインドキュメンタリー映画ということで、映画に登場したワインの試飲会を引き続き開催した。映画プラス実際の試飲というイベントとなり、より深く“ワイン文化”に触れる機会となった、との感想が聞かれた。
会場	県立美術館ホール	入場者 100人	
主催	高知ワインクラブ／吉村泰紀		

行事名	第19期第1回上映会「美濃・はなしの里－2003年美並村の原風景」		
日・時	6月18日(日) 13:00～ ・ 19日(月) 9:00～		「日本は今どこに向おうとしているのか」日本高層建築設計のパイオニアである池田武邦先生をお招きして、近代技術文明の功罪を先生ご自身の体験と共にお聞きした。来会者一同、明日の日本の自然・生活・文化・歴史に想いを馳せる一時をもてた日であった。また今回は徳島からの参加者もあり、19年間続けてきたことの評価に繋がるように思われた。
会場	自由民権記念館／草の家	入場者 83人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画を見る会／松吉恵子		

## 演劇部門(1)

行事名	<b>演劇祭KOCHI 2006～ゴゴ～！ゴダイサン！</b>		
日・時	4月1日(土)～6月30日(金)		安価な共通観劇ラリースポーツは、演劇鑑賞人口の広がりを期してのものであり、定着と広がりが見られた。高校生上演支援事業ハイスクールプランの評価も高い。またバリアフリーを意識して「聴覚障害者のためのシナリオ貸し出し」、障害者割引や小学生への低額観劇「ワクワクワンコイン」も実施。アートNPOとしての社会的役割の自覚に基づき、さらなる広がりを模索したい。
会場	県立美術館ホール・県立牧野植物園・五台山竹林寺	入場者 1900人	
主催	高知演劇ネットワーク・演会／西村和洋		

行事名	<b>Act.14「サド侯爵夫人」</b>		
日・時	4月14・15・16・21・23日 19:30～21:30		客殿内の障子を全て外し、広い範囲の庭園が見えるように舞台として組み入れ、作品・空間ともに広がりを感じることができた。今回のことを踏まえて、今後は、形にとらわれず様々な空間で上演していきたい。一方、会場へのアクセス方法が分かりにくかったり、案内板が少なかったことが、初めての会場で公演するにあたり準備不足な点であったと反省している。
会場	五台山竹林寺	入場者 341人	
主催	演劇集団S.T.H／岡村実記		

行事名	<b>演劇センター'90公演No47「結婚契約破棄宣言」</b>		
日・時	4月20日～22日 19:00～20:30・23日 13:00～14:30		現婚姻制度を批判する過激さながら、批判者が平凡なフリーターであったり体制派が通俗の人物だったり、随所に笑いのあるコメディとなった。だが劇は、「体制の作り出した制度に支配されている、気をつけろ」というメッセージが含まれているのだが、それに気づいた人がどれほどいたか。ただ、ひとりの中年男性が劇中いろいろと考えたと漏らしていたのは救いの一つだ。
会場	薫的座	入場者 568人	
主催	演劇センター'90／帆足寿夫		

行事名	<b>高知大学演劇研究会新入生歓迎公演「14歳の国」</b>		
日・時	4月23日(日) 17:00～		今回は代替わりの時期だったこともあり、下回生に技術の引き継ぎができたし、新たな技術の習得もできた。また、幕前の工夫などもよくなったと思う。しかし、演劇面と裏方の進行にかたよりが出てしまった。反省点としてはPR不足が挙げられる。拡販に力を入れればもう少し集客数が見込めたのではないと思う。これらのことを踏まえ今後の活動に力を入れていきたい。
会場	高知大学210番教室	入場者 50人	
主催	高知大学演劇研究会／菊川加恵		

行事名	<b>喜多流回雪臺高知粟谷会能楽大会</b>		
日・時	5月14日(日) 11:00～		創設55年目の記念の年であり、能「半蔀」上演のためか参加者も250人を超え盛況だった。面も装束も素晴らしく、客席の皆さんからお褒めの言葉もいただいた。能を催すことにより市民が古典芸能に親しむ機会を提供し、市民文化の向上に貢献していると自負している。しかし経費がかかるので、この点をどうするのが課題である。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 250人	
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会／岡部徳治		

行事名	<b>高知市民劇場第260回例会劇団昴公演「怒りの葡萄」</b>		
日・時	5月16日(火)～20日(土) 時間は日によって異なる		アメリカの作家ジョン・スタインベックの名作の舞台化で、文化庁芸術祭大賞を受賞した作品である。演出家はアメリカのジョン・ディロン。舞台成果を大いに上げた要因のひとつが、演出の力である。随所に観客をひきつける工夫があった。それは、装置や照明、音楽であった。それに応え俳優の演技も舞台を引き締めていた。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 3236人	
主催	高知市民劇場／塩田正興		



## 演劇部門(2)

行事名	劇団ゆまにて第71回公演「桂浜殺人事件」		
日・時	5月18日(木) 19:00~21:15		前回から9年ぶりの「桂浜殺人事件」の公演。今までのとは少し違う感じに仕上げたつもりだ。練習ではなかなか役者たちがその雰囲気をつかめず苦労したし、初めてこのお芝居を見たお客様は、ちょっととまどいがあったようだ。しかし、前回見たお客様からは概ね好評だった。これからも、役者たちの演技力を少しでも向上させ、お客様を納得できるようなお芝居を作っていきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者 265人	
主催	劇団ゆまにて／吉本智賀子		

行事名	高知市こども劇場低学年例会劇団かかし座公演「アラジンと魔法のランプ」		
日・時	5月29日(月) 19:00~20:45		ディズニーのアニメに親しんでしまっていて、登場人物が違っていたりイメージが違っていると感じた子供も多くいたようだが、かかし座特有の影絵での表現がスケールを大きくしたり不思議な空間をつくったり、物語の世界を広げてくれた。影絵と役者の絶妙なコラボレーションを楽しめた。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 640人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美		

行事名	高知市こども劇場高学年例会だるま食堂の日常音楽コント「暮しのト長帖」		
日・時	5月31日(水) 19:00~20:15		日常の一場面を切り取ったようなだるま食堂のコントは身近でとてもわかりやすく、単純明快。子供たちも笑いっぱいなの1時間15分だった。今回上演したプログラムは「先生」「レストラン」「ハモる少女の謎」「家宝の金糸」そして「サンバ」、女性3人が得意のハーモニーを生かし、音楽コンサートをするという形が、他にはない“笑い”の楽しさをより広げていたようだ。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 170人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美		

行事名	第18回高知能楽会大会		
日・時	6月4日(日) 9:00~18:30		観世流高知今井瓢月会、高知観世九阜会、喜多流高知栗谷会、喜多流高知喜香会、高知能楽囃子友の会で構成される高知能楽会の会員約160名が出演、日頃研鑽した技を発表した。ささやかながら当会の目的とする能楽の継承と地域文化発展に貢献することができたと思う。今後は、より一層後継者の育成に努力していきたいと考えている。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 300人	
主催	高知能楽会／高橋胤臣		

行事名	ラボ・パーティ高知地区交流発表会及び40周年こども広場		
日・時	6月25日(日) 13:00~17:00		第一部「こども広場」では、世界の歌を使い踊ったりゲーム遊びをして親子で楽しんだ。中高生実行委員も各ゲームを担当。最後に世界地図を見て、地球に住む同じ人間であることを確認。そして「ひとつしかない地球」の歌を手話も交え、会場全員で合唱。第二部は、4つのお話を英語・日本語劇にて発表。長時間の会となったが、幼児たちも静かに見ることができ、よい会となった。
会場	かるぽーと11階大講義室	入場者 55人	
主催	高知ラボ・パーティー／岩本真里		

## 音楽部門(1)

行事名	明德義塾第6回国際親善チャリティージョイントコンサート		
日・時	4月18日(火) 18:00~20:30		カナダとオーストラリアの姉妹校から吹奏楽、韓国からは民族音楽のグループを招待し、本校のマーチング部、和太鼓部と共演した。姉妹校の都合で直前の来校となり合同演奏に不安な面もあったが、正に「音楽に国境なし」、みるみる打ち解け、数曲を披露し盛況であった。しかし、合同ステージで民族音楽のグループと和太鼓部と一緒に演奏できなかったことは残念だった。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	750人
主催	明德義塾中・高等学校／吉田圭一		

行事名	高知ポップス・オーケストラコンサート2006 Beautiful Sound Forever		
日・時	4月22日(土) 18:30~20:30		今年は、フラダンスチームとの競演という初の試みにチャレンジしたが、全編オリジナル編曲というスタイルとも調和して、観客の心をつかんだようである。会場使用料が高いことは難点ではあるが、それを除けば今後のファン増加も見込め、持続性に確信が持てるものであった。これからも研鑽を重ね頑張っていきたい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	945人
主催	高知ポップス・オーケストラ／利根常昭		

行事名	一絃琴わくら和遊紅会演奏会		
日・時	4月23日(日) 13:30~15:30		ほとんど知られていなかった一絃琴ではあるが、熱心にお聴き下さる方が少しずつ増え、大変嬉しく思う。これからは古典曲を大切にしつつ、童謡・民謡・ポピュラー曲等を一絃琴用に編集し、若い方にも親しんでもらえるよう工夫していきたい。
会場	かるぽーと第1・第2和室	入場者	70人
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅		

行事名	高知民謡おしどり会発表会		
日・時	4月23日(日) 13:00~16:00		第29回目の発表会は、24万石博で賑わう高知城ホールであったが、お客さんの入りはいまいちであった。しかし、普段の練習の成果を発表しあい、会員全員が一堂に会し交流を深めることができた。来年は30周年記念大会なので頑張りたい。
会場	高知城ホール	入場者	130人
主催	高知民謡おしどり会／高橋輝雄		

行事名	第41回スプリングコンサート		
日・時	4月30日(日) 14:00~16:00		開演前から長蛇の列となり、人員整理が不十分で、初めて使用するホールへのとまどいやミスがあった。しかし、多くのお客様に来ていただきコンサート自体は成功だったと思う。まだまだ演奏面での実力不足が課題として残っているが、年々少しずつ積み上げていきたい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	959人
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉		

行事名	三曲演奏会		
日・時	5月7日(日) 13:00~15:40		今年は、ゲストに絃方奏者井関一博・松村エリナ、尺八奏者青木彰時の実力ある若手演奏家をお招きした。演奏曲の内訳は協会会員提曲5曲、協会提曲2曲、ゲスト曲3曲の計10曲で古典曲3曲、新曲・現代曲7曲とバランスのとれた曲構成となった。来場者からも曲構成・演奏内容ともに評価の声が多く寄せられ、入場者も満席に近い状態で盛会であった。
会場	県立美術館ホール	入場者	456人
主催	高知県三曲協会／森尾靖峰		

## 音楽部門(2)

行事名	秀鳳流春季吟詠練成大会			
日・時	5月14日(日) 9:30～17:00			日本の伝統文化である吟舞道への関心が一層高まるよう、プログラム構成に音楽的背景を生演奏で演出すること等の工夫をしながら、練成大会というだけにとどまらず、いわゆる「発表会」として、市民に注目される舞台を実現していきたい。
会場	プリンスホテル高知	入場者	380人	
主催	秀鳳流日本吟詠会／野中秀鳳			

行事名	グループ「し～ずん」コンサート			
日・時	5月19日(金) 19:00～21:00			当日は朝から大しけで心配したが、ほぼ満席に近い状態。フルートの服部牧人が「ボンソナ」を、十七絃・二十絃箏の渡辺治子が「宵待草」を楽器と共に歌うと、コンサートはピークに。アンコール曲「しゃぼん玉」は会場いっぱいの歌声でわきあがった。招待客はじめ、お客様からは満足したとの言葉を多くいただいた。
会場	県立美術館ホール	入場者	380人	
主催	グループ「し～ずん」／門田綾子			

行事名	一絃琴演奏会			
日・時	5月20日(土) 13:00～15:00			「日常を忘れ、別世界を体感することができました」「和の空間がいいですね」と参加者からの嬉しい便り。かるぽーと小ホールでの演奏会も定着し、舞台づくり、演奏も気持ちよかったです。
会場	かるぽーと小ホール	入場者	122人	
主催	正曲一絃琴白鷺会／近森律子			

行事名	高知県吟剣詩舞道総連盟春季競吟大会			
日・時	5月21日(日) 9:30～17:00			高度成長期に有志が集い、高知でも吟詠が盛んになりつつあった昭和33年に第1回目を行った競吟大会も、半世紀を迎えようとしている。本年もRKCホールで4月から県下2000余名の会員がジャンル別に勝ち抜き、優勝旗争奪競吟大会で毎年のごとく総合点が1点差位という緊迫した大会だった。審査の先生方も真剣そのもので有意義な大会であった。
会場	RKCホール	入場者	300人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／野中秀鳳			

行事名	Tutti6th & 音のみち5thジョイントコンサート			
日・時	5月22(月) 18:30～21:00			今回のコンサートでは、もう少し編成の大きなものをプログラムに加えた方がよかったように感じた。「Tutti」、「音のみち」には演奏者のみならず、作曲家や音楽学者も在籍しているので、新作初演や冊子発行など他のグループにはまねのできない幅広い活動を今後も続けていきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者	100人	
主催	Tutti, 音のみち／川添建太郎			

行事名	第7回土佐ふみの会民謡民舞大会			
日・時	5月27日(土) 12:30～16:00			本年は会場が南部健康福祉センター(老人憩い所)とあって客足が心配されたが、地区の方々の応援と会員の努力により約300名の入場者があった。音響効果が心配されたが、プロの方の応援で立派な舞台となった。今回も民謡を力強く歌いあげ、お客様と一体となる舞台ができ満足できるものだった。
会場	南部健康福祉センター	入場者	320人	
主催	土佐ふみの会／黒川二三子			

## 音楽部門(3)

行事名	<b>やいろ吹奏楽団第11回定期演奏会</b>			
日・時	5月27日(土) 18:00~21:00		来場者からのアンケートで、86%が「満足」または「良い」との回答だった。今回は、映画音楽を取り入れたり、県内在住の小学生ドラマーと共演できたことで、より音楽・吹奏楽を身近に感じていただけ、この評価につながったと感じている。今後も来場者増を課題に、市民の方々に吹奏楽に親しんでいただく機会が増えるよう活動していきたい。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		639人
主催	やいろ吹奏楽団／永野哲彦			

行事名	<b>第47回高知県合唱祭</b>			
日・時	5月28日(日) 10:00~16:00		例年より約1ヶ月早い開催となり、学校行事等の関係で数校参加できなかった。そのため、若干参加団体が減少したのが残念だった。その一方で、中村方面から毎年参加の「合唱団むぎ」が35名で参加、健在ぶりをアピールした。またお母さん団体からも5団体の参加があり、合唱祭を大いに盛り上げてくれた。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		508人
主催	高知県合唱連盟／谷村泰久			

行事名	<b>第19回桂民謡チャリティー民謡民舞の祭典</b>			
日・時	5月28日(日) 11:00~16:00		本年は県民文化ホールが改修のため会場をRKCホールに移しての開催であった。今回は横川流津軽三味線の先生方に特別出演していただいたうえに、郷民四国地区連合(愛媛)からも応援に駆けつけていただき、お客様にも最高の盛り上がりを楽しんでいただいた。来年は、発足20周年に当たるので、さらに力を入れて頑張りたい。	
会場	RKCホール	入場者		430人
主催	高知桂民謡会／竹内懸一			

行事名	<b>協会25年度第1回例会コンサート上村英郷ピアノリサイタル</b>			
日・時	5月28日(日) 14:00~16:00		幼児から年長者まで幅広い客層の方を対象とし、ステージと客席が一体となる素晴らしい音楽に心を動かされた。多くの方に支えられ病を克服した氏の、温かく素晴らしい人間性が溢れ出るコンサートであった。ただ、学校行事と重なったこともあり、満席にできなかったことは今後の検討課題である。	
会場	県立美術館ホール	入場者		360人
主催	(社)全日本ピアノ指導者協会高知県支部／住友弘一			

行事名	<b>混声合唱団pange第3回定期演奏会</b>			
日・時	6月3日(土) 18:30~21:00		今回初めてプロの方に編曲を委嘱したステージを取り入れた。内容は古典・現代・ポップス・合唱・組曲と、合唱を知らない方も楽しめる内容を工夫した。アンケートには「現代曲は奇をてらすぎて楽しめない」等の厳しい意見もあったが、大勢の方からは「面白かった」等と好評をいただいた。委嘱したステージも好評で、来年もまた頑張ろうと奮起した。	
会場	県立美術館ホール	入場者		385人
主催	混声合唱団pange／坂本雅代			

行事名	<b>第33回ふるさと民謡民舞まつり</b>			
日・時	6月11日(日) 12:30~16:00		文化祭への参加も33回を数える。会員の高齢化も進んでいるが、毎年、民謡民舞まつりを生きがいに楽しんでいる。	
会場	初月公民館	入場者		80人
主催	本條民謡連合会／元谷多鶴子			

## 音楽部門(4)

行事名	高知交響楽団第136回定期演奏会(高響創立75周年記念シリーズ前半)		
日・時	6月4日(日) 14:00~16:00		創立75周年として地元高知で活動するピアニスト佐藤麻理さんとの共演と、20世紀を代表する作曲家で今年生誕100年を迎えたショスタコーヴィチの交響曲の本県初演を中心としたプログラムを編成。予想を大きく上回る多数の入場者を得、かつてないほどの大盛況となった。演奏内容についても高い評価を得、特別共催行事に相応しい演奏会とすることができた。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 819人	
主催	高知交響楽団/山下佳邦		

行事名	大正琴あんさんぶる“あじさい会の夕べ”		
日・時	6月15日(木) 18:00~20:30		今回も室戸・赤岡・安芸と高知市の「びおら」「みづき」「野ばら」の総勢65名の会員と、賛助として藤間紫公・美津子先生をはじめ、サクスの久保氏、唄の清岡氏が出演してくださり、無事終了することができた。年に一度、県下に散らばる会員が一堂に集まったの発表会も第13回を数えた。また来年の実施を励みにがんばりたい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 380人	
主催	あじさい会/川島節子		

行事名	土佐一絃琴同好会演奏会		
日・時	6月18日(日) 13:30~15:30		土佐一絃琴の良さを知ってもらうために、曲目や演奏者に変化・特色をもたせた。入場者は昨年より若干少ないが「土佐二十四万石博」の流れもあり、県外客の参加もあった。開演前や休憩時間に一絃琴について説明することができ、概ね成功したと思える。今後は、会場や進行、一絃琴の体験の場の提供等を考えつつ、より一層励みたい。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 50人	
主催	土佐一絃琴同好会/高木美智		

行事名	第3回和太鼓・志鼓俱「自然の響」演奏発表会		
日・時	6月18日(日) 13:30~15:00		開演の呼び込み太鼓の音とともに、たくさんの方が観光途中でも立ち寄って下さり、楽しいひとときを過ごせて本当に良かった。昨年同様、このコンサートのために徳島の日和佐よりかけつけて下さった方々もおおり、このコンサートが定着しつつあるように思う。来年に向けてさらなる努力を重ねていきたいとメンバー全員心をひきしめた。
会場	牧野植物園内階段広場	入場者 100人	
主催	和太鼓・志鼓俱/井上博文		

行事名	高知マンドリン土曜日会第37回定期演奏会		
日・時	6月24日(土) 18:30~21:00		今回は、恒石先生をソリストに迎えたピアノコンチェルトで、これまでのマンドリンオーケストラにはなかったようなシンホニックな演奏ができ好評を博した。その他の曲も概ね好評だったが、まだまだ技術的には未熟なものがあり、これからの課題である。ステージの構成も検討の余地があり、今年の反省点を来年に生かしたいと思う。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 550人	
主催	高知マンドリン土曜日会/川村文隆		

行事名	高知県市民バンド連合15周年記念演奏会		
日・時	6月25日(日) 13:30~16:00		15周年記念である今年の演奏会は、通常の各団体の演奏の後、高知県初の「自由演奏会」の開幕となった。予定通り、プロチューバ奏者杉山淳氏の指揮と進行で、聴衆をまき込み180名の市民楽団員と一般参加者の演奏会が行われた。非常に多様なコンサートで観客の評価も良く、プレーヤーも楽しめる演奏会となった。今後も続けていきたい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 400人	
主催	高知県市民バンド連合会/大野恭平		

## 舞踊部門(1)

行事名	水心流弘道館剣詩舞道大会			
日・時	4月2日(日) 13:00~16:30		県民文化ホールが休館なので会場を高知城ホールとした。あいにくの雨で客足が心配されたが、大会が始まる頃には雨も上がり、折からお城では24万石博が行われており、公園の桜も満開状態で最高の大会となった。また、林霊山による模範演技等行われ有意義な大会であった。来年は中四国剣詩舞道大会が高知で開催されるので、今から徐々に練習を重ねていきたい。	
会場	高知城ホール	入場者		120人
主催	水心流剣詩舞道弘道館／柿本霊容			

行事名	良世の会おどりの会			
日・時	4月9日(日) 12:15~16:30		幸い天候にも恵まれ多くのお客様が来場した。今回は準備も含め、一日のみの開催としたため、朝から慌しく準備に追われることになったが、会員約20名は、体調を崩したりケガをすることもなく舞台に立つことができ、大変な充実感を得ることができた。観客からは例年にも増して大きな拍手を頂き、会員一同心から励みになった。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		500人
主催	良世の会／鍋島晶世			

行事名	第51回白鷺おどり			
日・時	4月16日(日) 15:00~18:00		本年の白鷺おどりは高知県日本舞踊協会の主催による文化祭開幕行事に引き続き開催され、若手と中堅の舞踊家が精力的に活躍を見せた。協会の主題である次代の舞踊家育成に成果を上げてきている。コンクールの結果は市長賞の該当者はなく、白鷺会賞に「まかしよ」の坂東藍乃、「水鏡」の山村富三之、高知新聞社賞に「飾り粽」の若柳智寿梨生が決定した。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		850人
主催	高知県日本舞踊協会／花柳昌延			

行事名	第24回坂東流はなぶさ会			
日・時	4月29日(土) 13:00~16:00		あいにくの雨で開場直後は客足が芳しくなかったが、上演途中からお客さんも増え始め、増席するほどとなった。舞台と客席との隔たりがあまりないので、立方とお客さんとの一体感を感じ、盛り上がりを感じた。古いこととなるが、料理屋さんでおさらえ会をやったことを思い出し懐かしく思った。	
会場	高知城ホール	入場者		126人
主催	坂東流英会／坂東英			

行事名	第5回「依光香代プルミエバレエ発表会2006」			
日・時	4月28日(金)18:00~21:00 29日(土)13:30~17:00		第5回発表会の記念作品として創作した「鶴の恩返し」を初演、同時に古典バレエの名作「コッペリア」第3幕を上演。末松大輔、アンドレイ・クードリヤらを招き、その妙技を堪能した。生徒はプロダンサーとの共演により技術や意識レベルの向上を図ることができた。今後も高知の芸術文化を盛り上げていけるよう日々レッスンに励んでいきたい。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		1800人
主催	依光香代プルミエバレエ／依光香代			

行事名	浜田悦子バレエ研究所第34回発表会			
日・時	5月7日(日) 13:00~16:00		初めてのかるぽーとで色々まとどったが、慣れてくると舞台の奥行きも深く、客席との親近感もあって、出演者にもとても踊りやすいと好評の舞台であった。当日は、あいにくの大雨だったが、大勢のお客様に熱心に鑑賞していただいた。子供たちの作品はかわいく・りりしく、大人の作品は静かなものと華やかなものとのコントラストが楽しめたと感想をいただいた。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		800人
主催	浜田悦子バレエ研究所／浜田悦子			

## 舞踊部門(2)

行事名	歌謡・民謡舞踊の舞緒香会		
日・時	5月14日(日) 11:30～16:30		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	750人
主催	藤間流舞緒香会／小野兎喜子		

私たちの会は高齢者の健康と生きがいのための会で、年に一度のこの会を目標に頑張っている。家族の方々も元気な姿に大変喜ばれていた。私たちの活動が、芸術文化の向上と高齢者の生きがい、健康の増進に役立てば大変幸せだ。今後もますます元気で良い発表ができるよう努力していきたい。

行事名	第34回内山時江ダンスシアター「鏡の呼ぶ声ーア、ナ、タ」		
日・時	5月20日(土)18:00～19:00 21日(日)15:00～16:00		
会場	内山時江モダンバレエ研究所	入場者	121人
主催	内山時江モダンバレエ研究所／内山時江		

「あなたは天と地のどちらをえらびますか」をテーマに行われたダンスシアターでは、オープニングのゆったりした動きに始まり、エネルギッシュな情熱のダンス、最後は「天空」をイメージさせるような崇高さや精神性をも表しており、動きから天使のように感じられた。年代の違うダンサーが同じ振り付けを踊り、「それぞれがよく調和がとれていた」という評価をいただいた。

行事名	一の宮咲子バレエ研究所第32回発表会		
日・時	6月11日(日) 13:00～16:00 18:00～21:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	2200人
主催	一の宮咲子バレエ研究所／一の宮咲子		

第二部ドンキホーテ「夢の場」の幕が上がると客席より拍手が沸き起こり、「美しく幻想的でまるで絵画を観ているようでした」との声をいただいた。まだまだではあるが、総合芸術であるバレエを観ていただけたと思う。出演者・裏方共に和やかで楽しい舞台であった。次に向けてより良い作品、より良い舞台を目指してさらに努力していきたい。

行事名	高知社交ダンス愛好会演技発表会		
日・時	6月25日(日) 13:00～16:00		
会場	木村文化会館	入場者	131人
主催	高知社交ダンス愛好会／尾崎比佐子		

今回の発表会は26周年にふさわしい盛り上がりが見られた。85歳の女性と先生とのデモンストレーションワルツを踊る姿に、場内は拍手・拍手の声援。また4つのダンス教室の先生や生徒の友情出演に、文化祭参加行事らしい内容の盛り上がりを見せた。高齢者の踊る姿は全く年齢を感じさせず喜々とし、社交ダンスの素晴らしさに人々の求めるものを感じることができた。

行事名	モダンダンス伊野有美子舞踊公演「炎」		
日・時	6月24日(土) 18:00～20:00		
会場	県立美術館ホール	入場者	350人
主催	モダンダンス伊野有美子舞踊研究所／伊野有美子		

「感動した」という評価をいただき、私達の舞台公演が魂に届いたと自負している。こつこつと一年間かけた作品が、創作者・演者・観覧者とひとつになれたと思っている。また、来年に向けての一歩が始まる。

行事名	第2回カナルスタジオカーニバル		
日・時	6月7日(水) 19:00～21:00		
会場	県立美術館ホール	入場者	375人
主催	カナルスタジオ／瀬川佳津江		

第1回目に続いて今回も空手や体操、ダンスなど、ひとつの舞台で様々な出し物があり、「たいくつなくて楽しい」との声が寄せられた。スポーツ経験のない子供達が見ても楽しく、動くことに興味を持ってもらうことができた舞台だった。今後の課題としては、さらに参加者を増やし一般の観客も一緒に楽しく参加できるような演出を心がけたい。

### 舞踊部門(3)

行事名	第51回立脇バレエ発表会		
日・時	7月1日(土)18:00~21:00 2日(日)12:00~16:00		かるぽーとでの発表会は初めてなので少し心配したが、とても踊りやすく素敵な舞台ができた。満員の観客の中には、客席数が少なく残念との声も多く聞かれた。作品に関しては、年々研究生の成長が見え、内容も喜んでいただき、日頃の努力が実ってきているように思われる。一年一年バレエファンを増やし、ダンスクラシックの素晴らしさを知ってもらいたい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 1850名	
主催	立脇千賀子バレエ研究所／立脇千賀子		



## 展示部門

行事名	第6回映光会書作展一中・近世の詩一		
日・時	4月21日(金)～24日(日) 9:30～18:00最終日は16時		第5回展まで平安時代を背景に雅な雰囲気を出すよう心がけてきたが、今回は時代を鎌倉から江戸までとし、武士の台頭に合わせ少し重厚さと、元禄時代の華やかさも表現したいとの思いがあった。顔はいつものようにある程度揃え、小袖の形の紙に連作で俳句を書いたり、能から題材をもらったり、時代性が出るよう工夫した。次回は江戸・明治と進めていきたい。
会場	高新画廊	入場者 540人	
主催	書道研究映光会／三浦映泉		

行事名	第58回高知市文化祭参加「春のいけばな展」		
日・時	4月21日(金)～23日(日) 10:00～18:00最終日は16時		好天に恵まれ、男性も多く予想外のお客様をお迎えできた。その中のおひとりが「同じ緑や花でも外で見るとはやはり一味違うね」と長時間入念に見ていかれた。花木の華やいだ雰囲気の中、工科大の伴先生が留学生に日本古来の伝統あるいけばなをと、大勢連れて来て下さり思わぬ国際交流の場ともなった。子どもコーナーも三年目と定着し大人達を喜ばせている。
会場	かるぽーと第1・第2展示室	入場者 3700人	
主催	社団法人高知県華道協会／北村光甫		

行事名	高知ばら会春のばら展2006		
日・時	5月12日(金)～14日(日) 10:00～18:00		出品数は467本で昨年より減少したが、コンテストは知事杯(伊藤喜世氏)など8賞を表彰。期間中は3日間で14名の新入会員があり、昨年入会の会員が多数運営に参加してくれ、全体的には盛況だった。今後は資料展示を充実させ、来場者向けに相談コーナーを設けたい。高知ばら会は、ばら愛培者を増やすことを目的にしており、少しでも文化向上に寄与できればと考えている。
会場	新京橋プラザ	入場者 1296人	
主催	高知ばら会／森岡清		

行事名	第14回触れる陶芸展		
日・時	5月18日(木)～23日(火) 10:00～16:00最終日は15時		盲学生さんから101歳の方の作品、県展特選作品等、毎回増加しつづけ総点数231点にもなった。会場は生命ある芸術作品の広場となり、「貧富強弱」が互いに助け合い生活し、共に文化を築き上げていく「共生共創」を目指している。高齢障害者施設の団体鑑賞は心を打たれた。今後も多くの皆様に見ていただくため、新たな気持ちで一同頑張っていきたい。
会場	こうち男女共同参画センターアトリウム	入場者 2038人	
主催	陶芸倶楽部草庵窯／生田竜山		

行事名	第30回記念さつき花期展覧会		
日・時	5月25日(木)～28日(日) 9:00～17:00最終日は16時		三十回記念で、盆栽の鉢数も多く盛大な展覧会となった。牧野植物園恒例のあじさい祭りと期間が重なったこともあり、連日大勢の来場者で賑わった。さつき盆栽の花の色とりどりで変化ある咲き方に多くの人が感動。また会員の育てた苗木鉢を先着100名様に進呈し大変喜ばれた。後日反省会の席で、例年以上との評価の声が多数を占めた。
会場	県立牧野富太郎記念館	入場者 2000人	
主催	高知県さつき愛好会／斎藤俊和		

## 文芸部門

行事名	<b>第36回総合文芸展</b>		
日・時	4月25日(火)～30日(日) 10:00～17:00		会員の作品を中心に、短歌・俳句・詩・川柳の約40点を展示。また初の試みとして、紙芝居を壁面いっぱいに表示、会場に彩りを添えた。さらに、陳列ケースには「高知文芸年鑑」や「会報」の他、椋庵文学賞、県出版文化賞、高知出版学術賞の各受賞図書が並べられ、鑑賞者も450人を数えた。来年は広くPRし、さらなる文芸の発展を目指したい。
会場	かるぽーと第4展示室	入場者 450人	
主催	高知ペンクラブ／高橋正		

行事名	<b>第35回高知県俳句大会</b>		
日・時	6月4日(日) 9:00～17:00		今年の参加は、会員の30%以上の160名で盛会だった。事前募集した優秀作品の表彰と、当日参加者による互選句会により、日頃の研鑽が発表され親睦が図られた。高齢化により年々募集句と会員数が減少傾向にあるが文化祭を通じて俳句作家の積極的な参加を呼びかけたい。これからは、他県に例をみない、伝統系・現代系の軋轢のない団体として活動していきたい。
会場	高新文化ホール	入場者 160人	
主催	高知県俳句連盟／橋田憲明		

行事名	<b>平成18年度帆傘川柳大会</b>		
日・時	6月25日(日) 10:00～16:00		第58回高知市文化祭参加行事として、第57回帆傘川柳大会を高知県文教会館5Fホールで行った。雨の寒風山を走り抜けて来ました、という愛媛県より11名の参加を得て、昨年とほぼ同じ参加人員であった。参加人員や助成金等を勘案すると、来年度は経費削減を考慮しなくてはならないとの反省感がある。
会場	高知県文教会館5Fホール	入場者 81人	
主催	帆傘川柳社／竹村温夫		

## その他部門

行事名	香を楽しむ		
日・時	4月23日(日) 10:00～・13:00～(2回)		心配した雨もあがり、午後は参加者も多くホッとした。卯月香をしたが、「六種の香を聞けた」と喜んで下さる方、「毎回感動です」とか、「ひととき雅な世界にひたれる」等の感想をいただいた。一服の茶と緑の庭園と香に安らぎを覚えて、帰られるとのこと。会員一同、今後共努力を重ね、伝統文化の大切さを伝えていきたいと思っている。
会場	寺田寅彦記念館	入場者	69人
主催	香道古心流土佐伽羅の会／藤本淑峰		

行事名	第32回高知市教育長杯かるた大会		
日・時	6月25日(日) 9:00～16:00		伝統文化の継承、古典文化への関心を高めることを目的に、小中高生を対象に毎年高知市教育長杯かるた大会を行っている。今年も小学生はまずまずの参加があり白熱した試合が数多く見られたが、残念なことに高校生の参加はなかった。高知県では学校等でかるたに取り組む機会がほとんど無いので、引き続き普及に努めていきたい。
会場	かるぽーと9階和室	入場者	55人
主催	高知かるた会／吉本健二		

行事名	第10回友の会文化祭		
日・時	4月23日～6月25日 全5行事		第10回を迎え最終日の6月25日、全サークル参加の「10周年だよ！チンドン」は大変な盛り上がりで満員となり大好評だった。また、10周年記念の小冊子も500冊作り、各サークルと一般の方に配布し大変喜ばれた。今回残念だったのは、最初の西尾流がインフルエンザのため公演中止になったことだ。これからも地域の文化を守り育てていきたいと考えている。
会場	三里文化会館	入場者	1200人
主催	三里文化推進友の会／坂本美代子		

行事名	興行映画上映会		
日・時	4月1日～6月30日 全4作品		文化祭に相応しい作品として、外国映画の「プロデューサーズ」(4/8～)と、日本映画の「明日の記憶」(5/13～)と「不撓不屈」(6/17～)、「バルトの楽園」(6/17～)を参加作品とした。
会場	TOHOシネマズ高知	入場者	12000人
主催	高知県興行生活衛生同業組合／三枝信明		